

## オンラインツール「Zoom」を使用した環境教育プログラムについて

○矢作 薫里，村山 花子，飯田 大輝  
(よこはま動物園)

2020年初旬から日本国内で流行した新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、よこはま動物園では対面での環境教育プログラムを実施することができなくなった。そのため、今までの環境教育プログラムに近い満足度を提供できるよう内容や実施方法を変更し、オンラインツール「Zoom」を使用して実施した。

その中でも特に、2011年から毎年7カ月1クールで月1回実施していたズーラシアスクールは、定員が少ないこともあり来園での実施からZoomを使用しての実施への変更が比較的容易であると考えられたため、積極的な試行を行った。実施にあたっては、共有機能の利用やブレイクアウトルームの活用、タブレット端末等を併用し、各回が終わるごとに反省点をカバーできるような操作方法へ改善していった。

また、それらの改善点を踏まえ既存の学校プログラムである出張プログラムやゾウ舎バックヤードツアーもZoomを使用して実施した。

その結果、ブレイクアウトルームやチャットを使うことにより、参加者とのコミュニケーションを密に取ることができ、大人数での1つのものを観察しやすく感染症対策もとれ、また自ら考える内容を増やすことによりプログラムへの参加意識を保つことができ、対面でのプログラムと同等の効果が得られた。しかし、動物を観察したときに得られるワクワク感や観察による学びは、やはり来園して実際に観察した方が効果が高いと考えられた。

それらを踏まえて、今後は様々な動物種でのバックヤードツアーや複数種の動物を紹介するツアー形式のプログラムの実施などを、遠方の方でも参加しやすい利点を活用してZoomだからこそできる環境教育プログラムを実施していこうと考える。